

2022年10月 (No.400)

## 主な内容とページ

日本の半導体産業復興策 期待と困惑 .....	1
手段としての外資導入とメモリ工場への投資支援 .....	4
政府の目標 2030年に日系シェア13%? .....	7
業界全体は、盛り上がり欠き挑戦不在 .....	7
みえない数値目標、全体像 .....	7
政府だけで動かせる産業規模ではない .....	8
米国は政府支援の4倍超の投資誘発 .....	11
コロナ禍-個人的雑感(SRL だより) .....	12

---

## 日本の半導体産業復興策 期待と困惑

わが国半導体産業の復興策が具体化しつつある。しかし期待の一方、困惑もみられる。

1. 政府による外資導入による半導体工場の建設及び先端メモリ工場への投資支援、安定した供給体制の確保を目的とした補助金投下等でわが国半導体産業の基盤整備は整う形になった。
2. 現行の政府支援は、整備のための手段で、今後の発展策、展望は未定。政府の施策が民間投資の呼び水となって拡大そして発展への挑戦が求められるが、今のところそこには、至っていない。
3. 米国、欧州、アジア等、半導体への政府の支援が民間の積極策の起爆剤につながっており、わが国は復活への全体像はみえず、目的・目標不在が困惑を招いている。

## コロナ禍-個人的雑感

新型コロナ感染は収まる気配をみせ、この秋は3年ぶりにいつもの雰囲気に戻ってきた。まだ油断できないが、個人的には、明暗交錯、苦しかった一方で、逆手にとって明るい材料にした面もあり、悪いことだけではなかった。

「明」は、生活を健全にしたこと。早寝早起き、大好きだった晩酌もやめてしまった。コロナ前に職場を都心から自宅近くに移転、徒歩ないし自転車通勤が可能だったことから運動も維持、満員電車や雑踏を避けることが出来、感染防止に役立ったと思う。しかし、コロナには感染、無症状だったが、これは残念、苦しかった。

「暗」は、外出や面談が著しく減ったこと。オンライン会議が普及、補っているが、限界がある。いずれにしてもわれわれの分野は特需があり、飲食旅行業などに比べれば救われた。世間では大きな打撃を受け、苦しみ、回復できないところは多く、一刻も早く正常に戻ることを祈っている。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2022 年 著作権所有 株式会社 SRL

### SRL Monthly Report

2022 年 10 月 (毎月 1 回発行) 第 33 巻 10 号 (通巻 400 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2022

### SRL Monthly Report

October 2022, No.400

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan

Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分 (12 号) 98,000 円 (税別) 107,800 円 (税込み)